

かていがくしゅうのてびき 1ねんせい

かていがくしゅうは、いえでやる べんきょうです。がっこうで べんきょうしたことを いえでやりなおすと、きちんと おぼえることができます。また、じぶんで すきなべんきょうを やると、べんきょうすることが たのしくなります。

かていがくしゅうは、まいにち こつこつと つづけていくことが たいせつです。

かていがくしゅうのすすめかた

- ①まいにち、20ふんいじょう べんきょうしましょう。
- ②てれびや げーむを けしましょう。
- ③の一とに じを かくときは、したじきを 入れて かきましょう。
- ④つくえのうえに げーむや まんが、おもちゃなどを おかないように しましょう。
- ⑤はじめに「おんどく」と「がっこうのしゅくだい」をやりましょう。
- ⑥じかんが あるときは、じしゅがくしゅうや ふしぎに おもったことなどの しらべがくしゅうをすすんでやりましょう。
- ⑦べんきょうが おわったら、すぐに つぎのひの よういをしましょう。

じしゅがくしゅうのすすめかた

しゅくだいが おわったら、したのなかから えらんで どんどん やってみましょう。まいにち つづけると ちからがつきます。

- ①の一とに ただしいひつじゅんで、ひらがな、かたかな、かんじの れんしゅうをする。
- ②こくごの きょうかしよの ぶんを の一とに ただしく うつつ。
- ③につきや さくぶんをかく。
- ④どくしよをする。
- ⑤けいさんどりの もんだいをする。
- ⑥きょう がっこうで がくしゅうした の一とを おんどくする。
- ⑦たぶれつとがくしゅう (すららどりの) をする。
- ⑧しょくぶつや どうぶつを みつけて よくかんさつして、すけっちをする。
- ⑨よしゅう (まだ ならってないところを よんでみること ちゃれんじしてみること) をする。
- ⑩ふしぎに おもったり、きょうみが あったりすることなどを しらべる。

かてい学しゅうのてびき 2年生

かてい学しゅうは、家でやるべんきょうです。学校でべんきょうしたことを家でやりなおすと、きちんとおぼえることができます。また、じぶんですきなべんきょうをやると、べんきょうすることが楽しくなります。

かてい学しゅうは、まい日こつこつとつづけていくことがたいせつです。

かてい学しゅうのすすめかた

- ①まい日、30ぷんいじょうべんきょうしましょう。
- ②テレビやゲームをけしましょう。
- ③ノートに字を書くときは、下じきを入れて書きましょう。
- ④つくえの上にゲームやまんが、おもちゃなどを、おかないようにしましょう。
- ⑤はじめに「音読」と「学校のしゅくだい」をやりましょう。
- ⑥時間があるときは、じしゅ学しゅうやふしぎにおもったことなどのしらべ学しゅうをすすんでやりましょう。
- ⑦べんきょうがおわったら、すぐにつぎの日のよういをしましょう。

じしゅ学しゅうのすすめかた

しゅくだいがおわったら、下の「じしゅ学しゅう」の中からえらんで、どんどんやってみましょう。いくつやってもかまいません。まい日つづけると、力がつきます。

- ①ノートに正しいひつじゅんで、かん字、カタカナのれんしゅうをする。
- ②国語のきょうか書の文をノートに正しくうつす。
- ③日記や作文を書く。
- ④読書をする。
- ⑤計算ドリルや教科書のもんだいくりかえしとく。
- ⑥じょうぎをつかって、きれいなもようをかく。
- ⑦しょくぶつなどのかんさつ日記を書く。
- ⑧タブレット学しゅう（すららドリル）をする。
- ⑨かけざん九九をおぼえる。
- ⑩よしゅう（まだならってないところを読んでみるこ、チャレンジしてみるこ）をする。
- ⑪ふしぎに思ったり、きょうみがあつたりすることなどを調べる。

※国語は、本を読めば読むほど、文を書けば書くほど力になります。まい日、すこしずつ読んだり書いたりしましょう。

※さんすうは、もんだいをとけばとくほど力になります。文しょうもんだいやむずかしいもんだいにも、まい日チャレンジしてみましょう。

家庭学習の手引き 3年生

家庭学習は、家でやるべん強です。学校でべん強したことを家でやりなおすと、きちんと覚えることができます。また、自分で好きなべん強をやったり、苦手なべん強もくふうしてやったりすると、べん強することが楽しくなります。

家庭学習は、毎日こつこつと続けていくことが大切です。

家庭学習の進め方

- ①毎日、40分以上勉強しましょう。
- ②テレビやゲームなどを消しましょう。
- ③ノートに字を書くときは、下じきを入れて書きましょう。
- ④つくえの上にゲームやまんが、おもちゃなどを、おかないようにしましょう。
- ⑤はじめに「音読」と「学校のしゅくだい」をやりましょう。
- ⑥時間があるときは、じしゅ学習やふしぎに思ったことなどの調べ学習を進んでやりましょう。
- ⑦べん強が終わったら、すぐに次の日の用意をしましょう。

じしゅ学習の進め方

しゅくだいが終わったら、下の「じしゅ学習」の中からえらんで、進めてみましょう。いくつやってもかまいません。毎日つづけると、力がつきます。

- ①ノートに正しいひつじゅんで、かん字、えい語（アルファベット）の練習をする。
- ②今日のじゅぎょうで学習したことやテストやプリントでまちがえたところをもう一度やり直す。
- ③日記や作文を書く。
- ④読書をして、わからない漢字や言葉の意味を調べる。
- ⑤計算ドリルや教科書の問題をくり返しとく。
- ⑥地図記号や方位を覚える。
- ⑦コンパスで円や三角形などの図形をかく。
- ⑧生き物（しょくぶつやアオムシなど）のかんさつ日記を書く。
- ⑨タブレット学習（すららドリル）をする。
- ⑩ローマ字を覚える。
- ⑪読んだ本のかんそうや詩（し）を書く。
- ⑫よしゅう（まだならってないところを読んでみることに、チャレンジしてみることに）をする。
- ⑬ふしぎに思ったり、きょうみがあつたりするとなどを調べる。

※国語は、本を読めば読むほど、文を書けば書くほど力になります。毎日、少しずつ読んだり書いたりしましょう。

※算数は、問題をとけばとくほど力になります。文章問題や応用問題にも、毎日チャレンジしてみましょう。

家庭学習の手引き 4年生

家庭学習は、家でやる勉強です。学校で勉強したことを家でやり直すと、きちんと覚えることができます。また、自分で好きな勉強をやったり、苦手な勉強もくふうしてやったりすると、勉強することが楽しくなります。

家庭学習は、毎日こつこつと続けていくことが大切です。

家庭学習の進め方

- ①毎日、50分以上勉強しましょう。
- ②テレビやゲームなどを消しましょう。
- ③ノートに字を書くときは、下じきを入れて書きましょう。
- ④つくえの上にゲームやまんが、おもちゃなどを、おかないようにしましょう。
- ⑤はじめに「音読」と「学校の宿題」をやりましょう。
- ⑥時間があるときは、自主学習やふしぎに思ったことなどの調べ学習を進んでやりましょう。
- ⑦勉強が終わったら、すぐに次の日の用意をしましょう。

自主学習の進め方

宿題が終わったら、下の「自主学習」の中から選んで、進めてみましょう。いくつやってもかまいません。毎日続けると、力が付きます。

- ①ノートに正しいひつじゅんで、漢字、英語（ローマ字）の練習をする。
- ②今日のじゅ業で学習したことやテストやプリントでまちがえたところをもう一度やり直す。
- ③日記や作文を書く。
- ④読書をして、わからない漢字や言葉の意味を調べる。
- ⑤計算ドリルや教科書の問題をくり返しとく。
- ⑥国語辞典などで、言葉の意味やことわざ、慣用句（かんようく）を調べる。
- ⑦漢字辞典などで、漢字の意味や使い方、成り立ちを調べる。
- ⑧理科の実験の仕方や実験用具の使い方を図や言葉でノートに書く。
- ⑨学習した生き物（植物・動物）について、くわしく調べて、ノートにまとめる。
- ⑩都道府県名を書いたり、そのいちをおぼえたりする。
- ⑪タブレット学習（すららドリル）をする。
- ⑫ローマ字を使って、文を書いたり、キーボードに入力したりする。
- ⑬予習（まだ習ってないところを読んでみることに、チャレンジしてみることに）をする。
- ⑭ふしぎに思ったり、きょうみがあつたりすることなどを調べる。

※国語は、本を読めば読むほど、文を書けば書くほど力になります。毎日、少しずつ読んだり書いたりしましょう。

※算数は、問題をとけば解くほど力になります。文章問題やおうよう問題にも、毎日チャレンジしてみましょう。

家庭学習の手引き 5年生

家庭学習は、家でやる勉強です。学校で勉強したことを家でやり直すと、きちんと覚えることができます。また、自分で好きな勉強をやったり、苦手な勉強もくふうしてやったりすると、勉強することが楽しくなります。

家庭学習は、毎日こつこつと続けていくことが大切です。

家庭学習の進め方

- ①毎日、60分以上勉強しましょう。
- ②テレビやゲームなどを消しましょう。
- ③ノートに字を書くときは、下じきを入れて書きましょう。
- ④つくえの上にゲームやまんがなどを、置かないようにしましょう。
- ⑤はじめに「音読」と「学校の宿題」をやりましょう。
- ⑥時間があるときは、自主学习や不思議に思ったことなどの調べ学習を進んでやりましょう。
- ⑦勉強が終わったら、すぐに次の日の用意をしましょう。

自主学习の進め方

宿題が終わったら、下のような「自主学习」をどんどん進めてみましょう。いくつやってもかまいません。毎日続けると、力が付きます。

- ①ノートに正しい筆順で、漢字、英語（単語）の練習をする。
- ②今日の授業で学習したことやテストやプリントでまちがえたところをもう一度やり直す。
- ③自分で考えた題名で作文、日記、詩を書く。
- ④読書をして、わからない漢字や言葉の意味を調べる。
- ⑤計算ドリルや教科書の問題を何度も繰り返し解く。
- ⑥国語辞典などで、言葉の意味や四字熟語（よじじゅくご）を調べる。
- ⑦社会の教科書や地図、社会の資料集で分かったことをノートにまとめる。疑問に思ったことや分からないことをインターネットなどで調べる。
- ⑧世界の主な国の名前を覚える。
- ⑨理科の実験の仕方や実験用具の使い方を図や言葉を使って、ノートにまとめる。また、色分けしたり、書き方をくふうしたりしてみやすくする。
- ⑩教科書の文を正しく写す。
- ⑪タブレット学習（すららドリル）をする。
- ⑫復習（今日の授業で学習したことをやり直すこと）をする。
- ⑬予習（まだ習ってないところを読んでみる、チャレンジしてみる）をする。
- ⑭不思議に思ったり、興味があつたりすることなどを調べる。

※国語は、本を読めば読むほど、文を書けば書くほど力になります。毎日、少しずつ読んだり書いたりしましょう。

※算数は、問題をとけば解くほど力になります。文章問題や応用問題にも、毎日チャレンジしてみましょう。

家庭学習の手引き 6年生

家庭学習は、家でやる勉強です。学校で勉強したことを家でやり直すと、きちんと覚えることができます。また、自分で好きな勉強をやったり、苦手な勉強もくふうしてやったりすると、勉強することが楽しくなります。

家庭学習は、毎日こつこつと続けていくことが大切です。

家庭学習の進め方

- ①毎日、70分以上勉強しましょう。
- ②テレビやゲームなどを消しましょう。
- ③ノートに字を書くときは、下じきを入れて書きましょう。
- ④机の上にゲームやまんがなどを、置かないようにしましょう。
- ⑤はじめに「音読」と「学校の宿題」をやりましょう。
- ⑥時間があるときは、自主学習や不思議に思ったことなどの調べ学習を進んでやりましょう。
- ⑦勉強が終わったら、すぐに次の日の用意をしましょう。

自主学習の進め方

宿題が終わったら、下のような「自主学習」をどんどん進めてみましょう。いくつやってもかまいません。毎日続けると、力が付きます。

- ①ノートに正しい筆順で、漢字、英語（単語や文）の練習をする。
- ②今日の授業で学習したことやテストやプリントでまちがえたところをもう一度やり直す。
- ③自分で考えた題名で作文を書いたり、今日のニュースを見て感想を書いたりする。
- ④読書をして、わからない漢字や言葉の意味を調べる。
- ⑤計算ドリルや教科書の問題を何度も繰り返し解く。
- ⑥国語辞典などを使って、言葉の意味や用例調べ、ノートに書く。
- ⑦社会の教科書や資料集などを使って、歴史上の人物や出来事を年表などにまとめる。疑問に思ったことや分からないことをインターネットなどで調べる。
- ⑧1日を振り返り、感想や考えを日記に書く。
- ⑨理科の実験の仕方や実験用具の使い方を図や言葉を使って、ノートにまとめる。また、色分けしたり、書き方をくふうしたりしてみやすくする。
- ⑩教科書の文を正しく写す。
- ⑪タブレット学習（すららドリル）をする。
- ⑫復習（今日の授業で学習したことをやり直すこと）をする。
- ⑬予習（まだ習ってないところを読んでみる、チャレンジしてみる）をする。
- ⑭不思議に思ったり、興味があつたりすることなどを調べる。

※国語は、本を読めば読むほど、文を書けば書くほど力になります。毎日、少しずつ読んだり書いたりしましょう。

※算数は、問題をとけば解くほど力になります。文章問題や応用問題にも、毎日チャレンジしてみましょう。